

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	入間市児童発達支援センター			
○保護者評価実施期間	令和7年1月22日 ～ 令和7年2月13日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数)	33
○従業者評価実施期間	令和7年1月22日 ～ 令和7年2月13日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	根拠のある個別支援計画に沿った支援を行い、利用者の満足度が高いこと	・ 方法論やアセスメントツール（KIDSスケール・ESDMチェックリスト・感覚プロファイル等）を取り入れ、個に応じた個別支援計画を作成し提供している。 ・ 保護者に、支援の内容について根拠をもって丁寧に説明している。	・ 記録や担任のアセスメントを評価し、現状の課題分析を常に行う。 ・ 療法士のアセスメントを支援計画に反映させていき、専門性を高めていく。
2	定期的に職員研修を実施し、療育の質を維持向上させている	・ 受託事業者代表（臨床心理士・ESDMセラピスト）による定期的な専門研修を実施している。 ・ 療法士（PT/OT/CP）による指導・研修がある。	・ 職員からの希望を研修内容に取り入れる。 ・ 必要に応じて外部研修に参加する。
3	環境が整備されている	・ 視覚支援の充実や構造化された支援環境を提供している。 ・ 巧技台やトランポリン、プレイルームや園庭等遊具や設備が充実している。	・ パーテーションの活用や配置を工夫し、療育中に適宜環境設定を構造化する。 ・ 安全マニュアルに基づき、遊具や設備関係の定期的な安全点検を実施する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者交流の機会がない	・ 入間市児童発達支援センター開催の保護者交流会を行ったが、児童発達支援事業の保護者の参加がなかった。	・ 児童発達支援事業の保護者を対象とした交流会の計画・実施に向け準備をしていく。（年2回予定）
2	きょうだいへの支援の機会がない	・ YouTube配信にて対応しており、きょうだい向けイベント等は未実施となった。	・ 休日の施設開放等、きょうだい児への支援を検討していく。
3	活動概要や自己評価表の結果等発信が弱い	・ 活動概要は記録やモニタリングを通してお伝えしているが、伝わりづらさがあった。 ・ 自己評価をHPで公開していたが、伝わりづらさがあった。	・ 今後、保健だよりや自己評価結果等、配信資料の掲示方法を見直していく。